

議 事 録

(以下、敬称略)

会議名	船橋在宅医療ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会（令和4年度第2回）		
日時	令和4年7月7日（木）18：30～：20：00	場所	オンラインにて会議実施
出席者	進行	石原茂樹・江尻和貴	書記 事務局：松川
	（委員 50 音順） 飯嶋和斗、飯島美智子、池田喜久子、石神敏明、石原茂樹、五日市奈緒美、伊藤秀一、梅津博道、江尻和貴、大塚由紀、小倉雅治、加藤寿美、川上祥弘、久保田恵子、齋藤俊夫、佐々木啓人、佐藤健一、塩原貴子、島田晴美、下田久美、杉山宏之、清水裕也、泉水泰良、高木秀明、田代晴基、谷博司、遠田なほみ、遠山良成、鳥居和雄、鳥海正明、永井葉子、林茂樹、半沢美由紀、福島節子、藤田敦子、松浦光子、松岡かおり、松本淳、宮前篤史、山崎繁夫、吉田幸一郎、吉田友則、吉田浩滋、渡辺千尋 事務局：斎藤課長、窪田課長補佐、佐野係長、玉川係長、松川、佐々木（地域包括ケア推進課）		
欠席	上記氏名で□枠のない者		
テーマ	内 容		
1)報告・検討議題 (20分)	1. 報告・検討事項 ①新たなメンバーの紹介 吉田浩慈氏（千葉県言語聴覚士会） ②地域リハビリテーション拠点事業報告 ・7月28日第34回地区勉強会開催予定 ・10月31日研究大会開催（Web）18:30 松坂先生（長崎リハビリテーション病院） ③今年度の当委員会活動予定について ④言語聴覚士の参加について ⑤ひまわり他の委員会の活動予定について		
2)各団体からの報告 (10分)	● <u>船橋市医師会</u> — ● <u>船橋歯科医師会</u> — ・令和4年9月12日（月）18時半～ 摂食栄養サポート勉強会 ・令和4年10月2日（日）14時～ @船橋市中央公民館 小児摂食講演（日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科 町田麗子先生） ・令和4年10月23日（日）14時～ @船橋市中央公民館 高齢者摂食講演（日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 菊谷武先生） ● <u>船橋薬剤師会</u> — ・6月後半から週に3～4回コロナ陽性者への薬の搬送件数が増加。 ・4月よりリフィル処方箋が発行されることになった。市内ではまだないが都内から処方箋が来ることもある。 ・役員に新たな2人の理事が就任、今後委員会の拡大、月1回Web研修会を開催予定 ● <u>千葉県理学療法士会</u> — ・6月26日（日）総会終了 ・千葉県PTOTST対象認知症リハビリテーション研修会（基礎コース）Web方式 8月27日（土）、9月11日（日）開催予定。 ● <u>船橋市栄養士会</u> — ・6月8日（水）～24日（金）食育展「船橋産の旬の食材を知ろう！おいしく食べよう！」にて、人参と小松菜の情報と、媒体として食育本「食べるの大好き」（光の星社）のイラスト（使用許可を得て）やレシピを掲示した。 ・7月2日（土）子育て応援メッセ2022 inふなばし全体会参加。		

- ・7月24日（金）35号会報発送予定。
- ・9月12日（月）摂食栄養勉強会：嚥下食の調理について発表予定
- ・市民健康講座の協賛：毎年9月開催だが、コロナ感染拡大状況により日程未定。
- 船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会ー
- ・6月3日に総会が無事に終わりました。
- ・定例会を予定していますが具体的には未定です。
- ・11月に船橋健康まつりに参加予定です。
- ふなばし市訪問看護連絡協議会ー
- 船橋市訪問介護事業者連絡会
- ・7月22日（金）19時～20時30分「船橋いきいきカフェ縁」 高根台公民館（講堂）
皆さまの参加をお待ちしています。
- ・7月23日（土）10時～12時「認知症の勉強会」 赤川先生（板倉病院） 中央公民館
- 船橋市介護支援専門員協議会ー
- 千葉県在宅サービス事業者協会ー
- 船橋市デイサービス連絡会ー
- 船橋市老人福祉施設協議会ー
- ・6月に総会（書面）終了
- ・施設の相談員を対象に Web による情報交換会を検討中
- 船橋市老人保健施設協会ー
- ・定例会は活動再開
- 船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会ー
- ・下総病院の法人が「下総会」に変更になり、名称が「薬円台リハビリテーション病院」となった。
- 船橋市訪問リハビリテーション連絡会ー
- ・訪問リハ事業者交流会開催予定
8月19日（金）18時30分～19時45分 Web方式（Zoom ミーティング）
- 船橋市通所リハビリテーション連絡会ー
- ・6月定例会を開催、次回は10月を予定。他団体（デイサービス）との交流会を検討中
- 船橋市障害福祉施設連絡協議会ー
- ・7月15日第1回定例会開催予定（障害福祉課出席）
- NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュアー
- ・オレンジカフェ（高根公民館）第3金曜日開催
6月は市リハビリセンターの泉水氏より講演「飲み込み力アップ講座」
コロナ禍で他者との会話が少なかったのか心配になる参加者が多い印象であった。
7月はヤクルトから「腸活してますか」のお話、8月はふなぼーと、9月は歯科医師会、
10月は薬剤師会からの講演を予定。
- ・ユマニチュード勉強会：ピュア主催にて10月29日（土）に開催予定
- ・千葉県医療的ケア児等支援センターがオープンした。
- 船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーとー
- ・5月19日在宅医ネット講演会（板倉クリニック 遠藤先生）をHPにアップしている。
- ・7月23日（土）千葉県MSW協会主催オンコロジーソーシャルワーク研修会開催予定。
- ・市医師会の理事改選があった。
- リハビリテーション病院ー
- ・市民向け講演会の準備中

	<p>●西部地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症家族交流会：8月4日（木）市役所にて開催予定
<p>3) (15分)</p> <p>4) 班による検討について (50分)</p>	<p>2. ミニセミナー</p> <p>「(仮) 医療的ケア児等に対するケア (訪問看護の立場から)」</p> <p>発表者：ふなばし市訪問看護連絡協議会 五日市奈緒美氏、吉田氏 (PT)</p> <p>※資料参照</p> <p>3. 各班作業</p> <p>(1) 班名：1班 「みんなで咲かせよう地域包括ケア班」 2班 「障害福祉を知って船橋を明るくする班」</p> <p>(2) 班メンバー：</p> <p>1班：A) (インフォーマル) 石原、松岡、半沢、吉田 (友)、石神、鳥居、大塚、玉川、佐々木 B) (摂食・嚥下) 田代、加藤、下田、永井、塩原、吉田 (幸)、吉田 (浩)、松浦、松川</p> <p>2班：池田、齋藤 (俊)、飯島、江尻、宮前、高木、伊藤、小倉、福島、馬場、齋藤 (千)、石川、松本 (淳)、清水、佐藤</p> <p>(3) 班の作業</p> <p>1班 (A)</p> <p>①取りまとめるインフォーマルサービスの整理について (インフォーマルサービスとは何か) いくつかの例を紹介・共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然散策マップ (市のHP「いきいきふれあいマップ」より) ・Wheelog (市内のバリアフリー情報) ・ちばりすネット (いろいろな趣味・活動教室・講座の紹介) <p>*保険外サービスと捉えてよいのでは。</p> <p>*どこまでがインフォーマルか分かりづらい部分もある。</p> <p>*地域の人たちと情報交換できるようにしていきたい。</p> <p>②今後の作業方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回会議までに整理し、作業方針のたたき台を作成し検討を行う。
<p>発表 (10分)</p>	<p>1班 (B)</p> <p>①今年度の達成目標 (成果物) について</p> <p>②今後の作業方針について</p> <p>※言語聴覚士の参加について：次回から藤井氏 (セコメディック病院) が参加する。</p> <p>●当チームにて作業する項目は以下の①～③の3点についてツールを作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①口腔ケアの大切さを伝える！なぜ口をきれいにしなければならないのか！</p> <p>②食形態、飲み込みの基本～嚥下障害を知ろう！</p> <p>③わかりやすい、誰でもできる嚥下食！</p> </div> <p>●成果物：地域リハニュースに掲載する。A4見開き2P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容に活字や写真で分かりやすく掲載するとともに、QRコードを掲載し動画

再生で詳細を伝えられるようにする。

- ・薬の服用方法及び副作用等による嚥下障害のポイントも記載する。
- ・1回の掲載だけでなく、シリーズで掲載周知していけるようにする。

①口腔ケアの大切さを伝える！なぜ口をきれいにしなければならないのか！

担当：歯科医師 田代先生

- ・口をきれいにする方法、口の掃除の方法、適切な磨き方
- ・口が汚いと肺炎のリスクが高まる
- ・現在、歯槽膿漏や齲歯の人で動画を撮影してくれる人を探しているが、なかなか了承は得られていない。もし対象者がいなければ田代先生が被験者となること考えている。
- ・動画による説明資料を作成。
- ・地域リハニュースにはQRコード及び写真と活字で掲載。

②食形態、飲み込みの基本～嚥下障害を知ろう！

担当：言語聴覚士 藤井氏（予定）

- ・上手な飲み込み方をするには、そこに働く筋肉（運動）、飲み込みやすい姿勢になっていること、飲み込みやすい食形態になっていることが必要。そのバランスが大事。
- ・姿勢をとろうにもその前に筋肉がなくポジショニングが安定しない人もいる。
- ・飲み込みをさせるためには、筋肉をつけていくことが必要。筋肉は触れることができるので運動をしていると変化を確認できる。
- ・喉頭蓋の動きだけでなく、摂食嚥下に係る筋肉の動きが保たれているか、飲み込みやすい姿勢か、お口がきれいであるかどうかなどを絡めて掲載していけるといいかと思う。

③わかりやすい、誰でもできる嚥下食！

担当：管理栄養士 加藤氏

- ・嚥下食の調理動画は撮影した。摂食栄養勉強会用に編集しているが、その動画をどのようにアップしたらよいか方法が分からず困っている。→ 再撮影予定、編集も検討。
- ・スライドも作成、10分にまとめていく。
- ・タイトルは「嚥下食レシピ」 嚥下ピラミッド、コードを活用。
コードは硬さの目標になるので知っておいた方がいい。コードの理解も進めたい。
動画では「コード2-2」の固さを目標に嚥下食を作っている。
- ・市販の材料を用いて簡単に作れる嚥下食 「(仮称)命のスープ」を作成。(食欲がないときも元気でいられる。)

●今後について

- ・次回の地域リハ推進委員会（9月8日）までに上記の3つのデータを作成し共有する。
- ・地域リハニュースへの掲載方法、レイアウトやアップの仕方等を検討する。

2班

①ミニレクチャー後の感想の共有

②「社会がこうなったらよいと思うこと」について（各意見）

- ・診療を行う上で社会の仕組み等足りない部分を勉強していきたい。
- ・障害の大小にかかわらず、ライフステージが変わっても変わらぬ日常、生活が保障される社会であってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> • セラピスト→技術を磨いていかないといけない。 • 地域で完結できることが大切 • 当委員会でなんらかのアクションを。 • 障がい児のことに興味関心を持つ人が増えていくこと。 • 地域での医師や看護の連携が必要。医ケア児の一時預かりや短期入所できる施設が少なく、千葉リハなど市外に行くしかない。 • 誰もが愛情をもって接することができる社会に。 • 千葉県医療的ケア児等支援センターで人材の養成研修を行っており講師の派遣もしている。 <p>(今後の作業について) 今後取り組む作業について整理していく。</p>
5)その他	<ul style="list-style-type: none"> • 佐々木氏（地ケア）より：資源情報管理委員会にて作成しているひまわりマップについて、リハビリテーションに関して調査項目等の追加、変更等があったらご意見をいただきたい。後日メールにて皆さまに発信します。 • 藤田氏より：千葉県医療的ケア児等支援センターのパンフレットが新しくできた。データをチャットにあげたので参考にしてほしい。相談支援、人材育成、機関連携・協働、地域体制整備、情報収集・発信、権利擁護と虐待防止の6つの機能がある。
次回日程	9月8日（木）18時30分～